



★每個句型一個音軌。

001

**あいかわらず…〔相変わらず……〕**

照常；仍舊；依然

- ◆ <sup>かれ</sup>彼の<sup>し</sup>仕事は<sup>あい</sup>相<sup>か</sup>変わらず<sup>い</sup>忙しい。他<sup>い</sup>的工作依舊忙碌。
- ◆ <sup>まつもと</sup>松本<sup>くん</sup>は<sup>あい</sup>相<sup>か</sup>変わらず<sup>ち</sup>遅<sup>こ</sup>刻ばかりする。  
松本還是老樣子，老是遲到。
- ◆ <sup>かれ</sup>彼は<sup>あい</sup>相<sup>か</sup>変わらず<sup>に</sup>日本<sup>ほ</sup>に<sup>す</sup>住んでいる。他依舊住在日本。

002

**…あいだ…〔……間……〕**

在……之間 { ① 空間範圍  
② 人與人之間的關係  
③ 在限定的某集團範圍內

- ◆ <sup>とうきょう</sup>東京<sup>はか</sup>と<sup>た</sup>博多<sup>あいだ</sup>の<sup>しんかんせん</sup>間<sup>はし</sup>を新幹線が走っている。①  
東京和博多之間有新幹線行駛。
- ◆ <sup>に</sup>二枚<sup>まい</sup>の<sup>あいだ</sup>パン<sup>はさ</sup>の<sup>間</sup>にハムを挟む。①  
兩片麵包之間夾著火腿。
- ◆ <sup>ふう</sup>夫婦<sup>ふ</sup>の<sup>あいだ</sup>間<sup>あいだ</sup>がうまくいっていない。②  
夫妻之間感情不好。
- ◆ <sup>けい</sup>経営者<sup>い</sup>と<sup>らう</sup>労働者<sup>しや</sup>の<sup>あいだ</sup>間<sup>ちやうてい</sup>を調停する。②  
居於勞資雙方間調停。
- ◆ <sup>わか</sup>若い<sup>ひと</sup>人の<sup>あいだ</sup>間<sup>りゆうこう</sup>で流行している。③  
年輕人之間很流行。

- ◆ あの先生は学生の間で評判がいい。③  
那位老師在學生之間風評很好。
- ◆ その噂なら、私たちの間ではみんな知っているよ。③  
那個傳聞在我們之間早已是人盡皆知。

003

…あいだ…〔……間……〕

…あいだに…〔……間に……〕

(時間範囲) { ① ……あいだ：在一段時間裡，某動作一直持續著。  
在……時間裡 { ② ……あいだに：在……時間點裡發生了某事。

- ◆ 寝ている間、クーラーは消したほうがいい。①  
睡覺的時候，將冷氣關掉比較好。
- ◆ 母が晩ご飯を作っている間、私はテレビを見ていた。①  
媽媽煮晚餐的時候，我在看電視。
- ◆ 夏休みの間（は）、塾へ通った。①  
暑假期間我上了補習班。
- ◆ 台北に住んでいる間、一度は本場の中華料理を食べに行きたい。①  
想趁住在台北的期間去吃一次道地的中國菜。
- ◆ 私が友人と話している間に、彼は帰ってしまった。②  
當我正在和朋友說話的時候，他回家了。

004

…あいだをおく〔……間を置く〕

每隔一段時間；每隔一段距離

- ◆ この路線バスは、いつも 20 分間をおいて発車する。  
這條路線的公車總是每隔 20 分發車。

- ◆ しばらく間<sup>あいだ</sup>をおいてから、また話し合<sup>はな あ</sup>いましょう。  
暫停一下，待會再聊吧！
- ◆ 間<sup>あいだ</sup>をおいて 雷<sup>かみなり</sup>が鳴<sup>な</sup>った。雷聲間歇地響起。
- ◆ 間<sup>あいだ</sup>をおいて木<sup>き</sup>を植<sup>う</sup>える。  
保持間隔種植樹木。（此句中「間をおいて」可替換為「間をあけて」）

005

## あいてにする〔相手にする〕

作為對手；對象；共事

## あいてにしない〔相手にしない〕

不理睬；不與共事

- ◆ 何度言<sup>なん ど い</sup>っても分<sup>わ</sup>からない人<sup>ひと</sup>を相手<sup>あいて</sup>にする必要<sup>ひつよう</sup>はない。  
不管說幾次都聽不懂的人沒有必要理會他。
- ◆ いつも嘘<sup>うそ</sup>ばかりついていたので、そのうち相手<sup>あいて</sup>にされな  
くなった。  
因為他老是說謊，不久之後大家對他變得不理不睬。
- ◆ 彼<sup>かれ</sup>があなたなど相手<sup>あいて</sup>にするわけがない。  
他不可能理會你這種人。
- ◆ 大学教<sup>だいがくきょうじゅ</sup>授<sup>つね</sup>は常<sup>がくせい</sup>にた<sup>あいて</sup>くさんの学<sup>がくせい</sup>生<sup>あいて</sup>を相手にしている。  
大學教授經常面對許多學生。

006

## あう〔…合う〕

相互；相……；一樣

以「R- + あう」的形式與其他動詞形成複合動詞。表示「一同…；相互」

- ◆ お互<sup>たが</sup>いに答<sup>こた</sup>えが合<sup>あ</sup>っているかどうか、確<sup>かくにん</sup>認<sup>あ</sup>し合った。  
我們已互相確認過，雙方答案是否相同。

- ◆ 二人は互いに見つめ合った。兩人互相凝視對方。
- ◆ 久しぶりの再会に抱き合って喜んだ。  
因久別重逢而高興得相互擁抱。

007

## あえて…ない

未必；不見得；無需

- ◆ テストの範囲について学生たちにあえて言う必要はない。關於考試的範圍，沒有必要對學生說。
- ◆ 彼女が傷つくと思ったので、あえてそのことは教えなかった。因為我認為她會受傷害，所以並沒有告訴她那件事。
- ◆ 二人が別れたからといって、あえて驚くにはあたらない。就算兩人已經分手，也沒有必要吃驚。
- ◆ 台風が近づいているのだから、あえて危険を冒すことはない。颱風正逐漸靠近，因此沒有必要冒險。

008

## …あげく（に）〔…挙句（に）〕

……的結果；結果是……；最後  
多表示不理想、不好的結果。

- ◆ さんざん悩んだあげく（に）、その店では買わないことにした。  
認真考慮之後，最後決定不在那家店買。
- ◆ 無理をしたあげく（に）、病気になってしまった。  
因為過度勉強，結果生病了。

- ◆ 彼を 1 時間半も待たせたあげく（に）、結局彼女は来なかった。讓他足足等了一個半小時，結果她卻沒來。
- ◆ 苦勞のあげく、何とか今回の実験に成功した。  
辛苦努力之後，這次的實驗總算成功了。

## 009 …あげて…〔…挙げて…〕

舉……；全……；都……

N をあげて

- ◆ これはわが社が総力を挙げて開発した製品だ。  
本公司舉全體人員之力所開發的產品。
- ◆ 国を挙げてチームを応援する。舉國為該隊伍加油。
- ◆ 街を挙げてキャンペーンを行う。整條街舉辦特惠活動。

## 010 …あたいます〔値する〕

值得……；相當於（常以「……に値する」表現）

- ◆ 彼は尊敬に値する人物だ。他是一個值得尊敬的人物。
- ◆ この本は一読に値する一冊だ。這是很值得一讀的書。
- ◆ 彼の年収は、私の 10 年分の年収に値する。  
他的年收入，相當於我 10 年的年收入。

## 011 あたかも…ようだ

宛如；恰似；好像……一樣

- ◆ 今日の天気はあたかも春のようだ。  
今天的天氣宛如春天一般。
- ◆ その顔はあたかも怒っているようだった。  
那副表情好像正在生氣似地。
- ◆ 彼女はあたかも女優のような服装で学校へやってきた。  
她穿著宛如女演員（穿）的服裝來學校。

012

## あたまがさがる〔頭が下がる〕

欽佩；感激

- ◆ 彼の客への応対を見ると、本当に頭が下がる。  
看到他與客人的應對，真的令人佩服。
- ◆ 彼の勤勉ぶりには、自然と頭が下がる。  
看到他勤奮的模樣，自然而然讓人心生敬意。
- ◆ 被災地でボランティアの人たちが活動している姿を見て、頭が下がる思いだった。  
看到志工們在災區從事活動的模樣，不禁令人欽佩。

013

## あたまにうかぶ〔頭に浮かぶ〕

想起；湧上心頭

- ◆ ふと過去の辛かった出来事が頭に浮かんだ。  
過去痛苦的往事不經意湧上心頭。
- ◆ 事件の状況から、ある人物が頭に浮かんだ。  
事件的狀況使我想起了某號人物。

014

## あたまをいためる〔頭を痛める〕

傷脳筋；焦慮；操心

- ◆ 社員旅行へ行こうにも、お金がなくて、頭を痛めている。雖想參加員工旅遊但是沒錢，讓我傷透了腦筋。
- ◆ 毎日のお弁当のメニューには頭を痛める。為每天便當的菜色感到苦惱。
- ◆ 日本語を学習する外国人が、頭を痛めるのは、助詞の使い方だ。學習日文的外國人最頭痛的就是助詞的用法。
- ◆ 市民のごみ出しのマナーの悪さに、市当局は頭を痛めている。市民倒垃圾時不遵守禮儀，讓市政當局傷透腦筋。

015

## …あたり…〔…当たり…〕

平均；每……；大約；上下；附近

- ◆ この辺りは一坪あたり一萬円で売られている。這一帶平均一坪賣一萬日圓。
- ◆ この車は1リットルあたり6キロ走れる。這輛車平均1公升（汽油）可以跑6公里。
- ◆ 来週あたり雨が降るかもしれない。下週可能會下雨。
- ◆ 私は来年あたり日本へ留学を考えている。我正在考慮大概明年要去日本留學。
- ◆ 彼女は休みになると、渋谷あたりをぶらぶらしている。她只要一放假，就會去渋谷一帶閒晃。

016

## あっけにとられる〔呆気にとられる〕

發呆；發愣（用於因為意外而嚇呆）

- ◆ 一瞬<sup>いっしゆん</sup>の出来事<sup>できごと</sup>にみんなあっけにとられて、言葉<sup>ことば</sup>も出なかつた。大家被瞬間發生的事嚇到，什麼話也說不出來。
- ◆ 社長<sup>しゃちょう</sup>の突然<sup>とつぜん</sup>の減給<sup>げんきゅう</sup>発言<sup>はつげん</sup>に、社員全員<sup>しゃいんぜんいん</sup>はあっけにとられた。對於社長突然的減薪發言，全體職員都愣住了。
- ◆ 山田<sup>やま</sup>くんの豪快<sup>ごうかい</sup>な食べ方<sup>た</sup>にあっけにとられて、私<sup>わたし</sup>の箸<sup>はし</sup>は止<sup>と</sup>まってしまった。我被山田豪邁的吃相嚇得停下了筷子。
- ◆ 彼女<sup>かのじょ</sup>のあまり<sup>うつく</sup>の美しさ<sup>うつく</sup>にあっけにとられてしまった。她過人的美貌看得大家目瞪口呆。

017

## あつての

有……才

- ◆ お客様<sup>きやくさま</sup>あつての私<sup>わたし</sup>達<sup>たち</sup>の会社<sup>かいしゃ</sup>だということを理解<sup>りかい</sup>しなければなりません。我們必須體認到有客人才有我們公司。
- ◆ 親<sup>おや</sup>あつての今<sup>いま</sup>現在<sup>げんざい</sup>の自分<sup>じぶん</sup>だから、親孝行<sup>おやこうこう</sup>するのは当たり前<sup>あ</sup>前<sup>まえ</sup>だ。有父母才有現在的自己，孝順父母本來就是應該的。

018

## あっという間に…〔あっという間に〕

瞬間；一眨眼工夫（慣用語）

- ◆ ゲームをしていると、あっという間に時間<sup>まじかん</sup>が経<sup>た</sup>ってしま<sup>う</sup>。打電動時，時間一下子就過去了。
- ◆ 事故<sup>しこ</sup>はあっという間<sup>ま</sup>の出来事<sup>できごと</sup>だ。車禍<sup>しやくわ</sup>是在一瞬間所發生的事。
- ◆ 先月<sup>せんげつ</sup>もらった給料<sup>きゆうりょう</sup>は、あっという間<sup>ま</sup>になくなった。上個月領到的薪水，不一會兒功夫就沒了。

019

## …あて…〔…当て…〕

毎……

- ◆ 申し込み<sup>もうこ</sup>は一口<sup>ひとくち</sup>につき二人<sup>ふたり</sup>あて<sup>あ</sup>とする。  
每張申請單可以填寫兩個人。
- ◆ 福祉<sup>ふくし</sup>カーがすべての地域<sup>ちいき</sup>に1台<sup>いちだい</sup>あて<sup>あ</sup>贈呈<sup>ぞうてい</sup>された。  
每一個地區贈送一輛博愛車（註：附輪椅升降板的廂型車）。

020

## あてがない〔当てがない〕

沒有希望；沒有辦法；沒有線索

## あてがある〔当てがある〕

有著落；有辦法

- ◆ どこを<sup>さが</sup>探せばいいのか、あて<sup>あ</sup>はなかった。  
要找哪裡，我一點頭緒也沒有。
- ◆ こんな何<sup>なに</sup>もないところでは食<sup>た</sup>べ物<sup>もの</sup>を手<sup>て</sup>に<sup>い</sup>入れるあて<sup>あ</sup>もな<sup>い</sup>い。在這種鳥不生蛋的地方沒辦法找到食物。
- ◆ 今晚<sup>こんばん</sup>は泊<sup>と</sup>まるあて<sup>あ</sup>がない。今晚沒有地方可住。
- ◆ 失業<sup>しつぎょう</sup>しても、収<sup>しゅう</sup>入<sup>にゅう</sup>を得<sup>え</sup>るあて<sup>あ</sup>があるから、心配<sup>しんぱい</sup>はいら<sup>な</sup>い。雖然失業了，但是還能有收入，所以不需要擔心。

021

**あてにする**〔当てにする〕

指望；盼望；相信；期待

**あてにしない**〔当てにしない〕

沒有指望；沒有期待

- ◆ 老後は年金を当てにするつもりだ。  
打算晚年靠老人年金過活。
- ◆ いつまでも親を当てにしてはいけない。  
不能老是指望父母（養育）。
- ◆ 初めからあなたなど当てにしていない。  
打從一開始就不指望你這種人。
- ◆ 株高を当てにして安易に投資をすると、失敗する恐れがある。  
一旦相信高股價而輕易投資，恐怕會失敗。

022

**あてにならない**〔当てにならない〕

不可靠；不可依靠

**あてになる**〔当てになる〕

靠得住；可以依靠

- ◆ この統計は10年以上前のものだから、当てにならない。  
這份統計是10年多前的東西了，所以不可靠。
- ◆ まじめな彼の言うことだから、当てになる。  
因為是老實的他所說的話，所以很可靠。
- ◆ 最近の天気予報は当てにならない。  
最近的天氣預報實在靠不住。